

第 8 期 第 2 回自治基本条例推進委員会 検証部会 会議録（概要）	
開催日時	令和 8 年 7 月 1 6 日（木） 午後 4 時～午後 5 時 2 0 分
開催場所	阪南市役所 3 階全員協議会室
出席者	【検討部会員】 壬生部会長、田中委員、佐渡委員、谷口委員、小谷委員 5 人出席 【市】 市民共創課（金田課長、奥野、橋口）
傍聴人数	0 人
議題	重点テーマの選定について 等
資料	資料 1 自治基本条例推進委員会検証部会名簿 資料 2 阪南市自治基本条例検証 重点テーマ選定（フィッシュボーン図）
議事内容	【開会】委員の変更に伴う委嘱報告 ・ 前回部会で報告した公共的団体代表者の交代内容について事務局から改めて説明（市民活動センター代表者が杉山氏から佐渡氏に交代）。佐渡委員が就任挨拶を行った。 ・ 本日出席は委員 6 名中 5 名であり、会議が成立していることを報告。 【議題 1】重点テーマ選定と検証方法の検討 （部会長）検証にあたり、前回出された検証視点の意見の結果を事務局がまとめた。その資料をもとに、重点的に検証する視点を 1 ～ 2 件選定することが本日の目的。また、テーマ決定だけでなく、検証時に確認したい内容や必要な資料・情報の方向性を整理したいと思う。 （事務局）前回出た意見を「情報を届ける・共有・管理・担い手・活動拠点・地域の繋がり」の 6 分類でフィッシュボーン図に整理した。（※それぞれについて前回いただいた意見を改めて説明。） （部会長）フィッシュボーン図の大きな骨で 1 つ選べたらいいと思う。やり方は色々柔軟にできると思う。改めて皆さんの考えをいただきたい。 （部会員）市民全体のことを考えるとやはり災害対策であれば市民全体で考えられると思う。もう一つ選ぶとしたら、幼少期からのボランティア活動を入れてもいいかと思う。学校等の跡地活用も大事ではあるが、自分たちではどうすることもできないところでもあるので難しい。 （部会長）災害対策は面白い視点だと思う。色々な切り口からの検証ができあ

がるかと思う。

（部会員）自分の住んでいる地域では、自主防災組織が10年以上も続いており、年1回防災訓練を行っている。自治会の在り方、活動の仕方、地域住民との関わりをどう考えるかなど、様々な問題がある。住民センターの課題もあるが、地域が活動拠点として住民センターを維持管理していくために、行政はこういう支援体制を整えている、となれば、地域にとっては防災や福祉活動を行う上で非常に大きい。

（部会長）まちづくりの取組を地域で色々進めていくにあたっては、市がどんな支援ができるか、ということだと思うが、それもまちづくりの今後を考えていくうえで重要な視点。

（部会員）皆さんの意見にもあったが、「地域差」がすごく大きい。災害対策、住民センター、まちづくり協議会、どの項目でいくにしても、地域差を考えてやらないと成り立たない。

（部会長）地域の強み、弱みについては、検証をしていく上で気をつけていきたいところ。

（部会員）条例の中では、協働・共創の部分を強調されているように思う。なのでこの部分を検証していくのがいいと思う。

（部会長）他団体との連携については、条例の中にもあり一つの重要な視点。今までの話をまとめると、災害対策、地域の活動拠点、まちづくりのための市の後押し、幼少期からのボランティアといったところ。災害に関しては、条例でも比較的最近に追加・改正をした条文。それが実際に地域で、まち全体でどんな取組に繋がっているかを検証するのはそれなりに筋が通っており、面白く、わかりやすい。

（部会員）行政として、このまちをどういうふうにしていくのか、総合計画をみれば書いてあるのですが、なかなかわかりにくい。また、地域ではどのような活動がされているのか、出来る限り知りたい。広報はなんなんも全部読んでいるが、面白い記事もあれば、官僚的な文章も多い。色々な形で、デジタルも駆使しながら情報を届けていただいている。

（部会長）どういうツールで、どういう人たちにきちんと届けるかはずっと大事な視点。広報しか見ていない人もいれば、逆にLINEしか見ていない人もい

るので、どのようにして手段をかけ合わせて相手に確実に届けるようにするかは大きな課題。

（部会員）広報誌等での意見募集を実質的なものにするには、もう少し工夫が必要かと思う。また、行政に無関心な市民に対し、いくら情報を発信しても受け取ってもらえない。そういった層にも少しでも耳を傾けてもらえるような情報発信の対策を検討していただきたい。

（部会長）情報発信の有効性は、過去の検証でも常に課題として挙がってきたところ。今回は、例えば「災害対策」をテーマに据えて、情報発信や情報共有、避難所なども関係する。市の取組も災害対策という枠であれば色々検証できるように思う。もしくは、もうちょっと議論をするか。担い手の話もある。

（部会員）部会長が仰られたように、災害対策、というのをキーワードにして、それに関する情報、例えば備蓄や避難所、支援物資等の情報を行政がどう発信するのか。また、市民としてどう受け取る体制を作るのか。災害に真っ先に対応するのは地域の住民であり、地域の組織化等、本当に差し迫った問題であるので、そこをテーマとしてそこから考えるということではいいかと思う。

（部会員）情報の共有は、災害対策でもそうであるが、相手がいかに興味をもってその情報を受け取れるかということを考えないといけない。それを考えれば、どのテーマでも成立すると思う。

（部会長）自治基本条例がどれだけ満たされているのか、を確認する作業のため、その考え方も大事ではあるが、分野に限ったほうが検証のための資料も集めやすく、私たちも議論しやすいかと思う。一方通行ではなく、双方向が大事というのは本当にその通り。一方で、災害対策がテーマであれば、地域の課題も見えてくる。今の話では出てこなかったが、例えば企業との連携では災害対策は必ず出てくる分野。そういう様々なことを検証し、その結果を推進委員会として市民の皆さんに発信することで、市民の人に興味を持ってもらいやすくなると思い、皆さんのお話を聞いていた。異議がなければこれでいきたいがどうか。ありがとうございます。では、事務局に、災害対策に関する現状集められる資料を集めていただきたいと思います。

次回の検証部会の後は、中間報告を推進委員会で行うことになるので、それを頭に入れながら、今回選んだ災害対策についてどんな取組がなされているかを検証していきたいと思う。

（部会員）過去にあった災害事例やその対応について簡単なものでいいので、

あれば資料として欲しいところ。

（部会長）とても良い提案。全部でなくていいので、いくつかそういったものがあるとイメージしやすく具体的な議論ができると思うので、事務局に準備をお願いします。

（事務局）次回については、9月を予定。それまでに必要な書類を集め、また部会開催1週間前までには資料を各委員に届くようにしたいと思う。また、部会員以外の推進委員会の皆さんにも議事録や資料の送付で検証の進捗について共有する予定である。

（終了）